

年 組 名前：

女性最多更新 22 議会

山梨の割合 全国 45 番目

統一選・道府県議選

統一地方選で改選された41道府県議会のうち、30議会で女性が増え、半数以上に当たる22議会が過去最多を更新したことが6日、各議会や選挙管理委員会への取材で分かった。定数に占める女性の割合も香川と鹿児島で10割以上高くなるなど多くの議会で伸び、女性が2割を超えるのは47都道府県議会で2議会から5議会となった。山梨は1人増えて2人となり、女性割合は5・4%で福井と並び全国で45番目だった。

候補者は15%に過ぎず、女性の議会進出へ底上げが求められる。

総務省が公表した女性当選者数と22年12月末時点の統計を比較、非改選の6議会は22年12月末時点とした。

一方、11議会では女性割合が減少か横ばいで、非改選を含めた全国平均は14%にとどまる。「政治分野の男女共同参画推進法」施行から5年。統一選候補者の女性割合を「25年までに35%」とする政府目標に対し、道府県議選の

香川は2人から9人、鹿児島は5人から11人へ大幅増。女性が1人しかいなかった熊本と山梨ではそれぞれ5人、2人となった。新潟、滋賀、徳島ではそれぞれ1人減った。

女性割合が5割以上高くなる

つた議会は13議会。香川は約17割、鹿児島は約11割上がった。このほか、大阪と山形で

9割程度、青森と熊本で8割程度伸びた。

〔共同〕〔社会部〕

41道府県議選の女性当選者は過去最多の316人だった。

割合が29議会、1割未満が13議会、最も低かったのは大分(4・6%)だった。山梨の改選前は2・7%で全国46番目。改選後は5・4%に上がったが、45番目で依然低い。

47都道府県議会で定数に占める女性割合を比較すると、トップは東京の29・9%。次いで香川(21・9%)、岡山(21・8%)、京都(21・6%)、鹿児島(21・5%)の順。1



(2023年5月7日付 山梨日日新聞 18面)

問1

統一地方選で改選となった道府県議会で、次の県の女性議員は、何人から何人になりましたか。

- 山梨県：.....人 から人
- 香川県：.....人 から人
- 鹿児島県：.....人 から人
- 熊本県：.....人 から人

問2 山梨県議の女性が占める割合は、全国で何番から何番になりましたか。

.....番から番

問3 山梨県は、依然低い状態が続いています。どのようにすれば女性議員が増えると思いますか。

.....
.....